

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を断つ
- (2) 感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い等の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

※この大会は選手・監督・マネージャー以外の保護者関係者の応援・ご来場はご遠慮いただきます。

【具体的な感染防止対策】

(1) 遵守する事項

①大会運営全般

- ・競技会場における3つの「密」の回避をします。
- ・手指アルコール消毒液、石鹸の設置をします
- ・定期的な換気をします
- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手、テーブル、いす等）については、定期的に消毒をします
- ・飲食については、黙食を呼びかけ、周りの人との距離をとれるようにします
- ・会場内では新型コロナウイルス感染症対策について参加者に注意喚起します
- ・チームキャプテンミーティングは、できる限り野外で、ソーシャルディスタンスを確保し、時間の短縮し実施します
- ・表彰式の際は、表彰者及びプレゼンターは全員の手指消毒を行います
- ・表彰台は使用せず間隔を空けて行い、全員マスクを着用し行います
- ・マスク着用、大声抑止等の決まり事が徹底されなかったときの個別注意を行います
- ・感染を疑う者が発生した場合の個室の用意をします
- ・ゴミが各自ゴミ袋を用意し持ち帰るよう指示します
- ・提出された「健康チェック管理用紙」（様式2）の原本については、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報への取扱いに十分注意しながら、保存期間を一ヵ月として保管します

②参加者

◆選手・監督・引率責任者

- ・来会前に参加生徒への新型コロナウイルス感染症対策についての事前指導（対策の理解、協力、実行）
- ・来会2週間前から大会参加終了時までの健康チェックシート（様式1-1・1-2）による健康状態の記録
- ・引率責任者は、来県前に健康チェックシート（様式1-1）の内容を毎日確認し、健康状態に問題がある場合は必ず医療機関を受診させ、場合によっては大会参加を見合わせる等の対応をする。
- ・引率責任者は、大会期間中、毎日選手健康チェックシート（様式1-2）の内容を確認する。その際、必ず健康チェック管理用紙（様式2）へ必要事項を記入し、大会終了時に原本を大会実施本部へ提出すること。
- ・様式1-1、1-2については、保存期間（1ヵ月以上）を定め、各自保管しておく。
- ・引率責任者は、引率生徒がマスクを準備・着用しているか確認する
- ・来会日より2週間前までの期間に、様式1-1のチェック項目により風邪等の症状がみられた場合は、参加を見合わせる。但し来会日より3日前までに風邪等の症状が消失した場合は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低いことを示す「医師の診断書」を大会事務局へ提出することで出場を認める。

◆競技役員・大会役員・視察員・補助員

- ・来会2週間前から大会参加終了時までの健康チェックシート（様式1-1・1-2）による健康状態の記録
- ・来会前に健康チェックシート（様式1-1）の内容を確認し、健康状態に問題がある場合は大会参加を見合わせる等の対応をする。
- ・様式1-1、1-2については、保存期間（1ヵ月以上）を定め、各自保管しておく。

◆共通する事項

- ・参加者は、来県前に体調不良（例：発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、味覚臭覚の異常など）が出現した場合、かかりつけ医を必ず受診し、参加是非についての判断を仰ぐ
- ・発熱など感染の疑いがある場合は参加を見合わせる等の対応を取る
- ・来会前及び大会期間中の毎日の検温をする
- ・身体的距離の確保（感染予防の観点から、少なくとも2m）する
- ・マスクの持参及び着用（練習及び競技中の着用は参加者の判断による）特に会話するときには要着用
- ・3つの「密」に対する自らの回避（特にミーティング時は留意）
- ・手洗い、手指消毒、うがい、咳エチケット等の徹底・マイタオルの持参
- ・大声及び身体接触の抑止（ハイタッチ及び握手はしない、応援は拍手で）
- ・食事（昼食を含む）、宿舎及び輸送（移動）では各施設及び業者のガイドラインを厳守する
- ・必要物品は各自で持参：体温計、マスク（1日1枚）、ハンカチ（1日1枚）、ビニル袋、入浴用品、ブラシ等
- ・ゴミの持ち帰り
特に体液のついたものは、ビニル袋に入れ、口を綴じて指定された場所に捨てること
- ・唾や痰をはかない

(2) 場面ごとの留意点

①移動・輸送

- ・マスクの着用を徹底し、車内では会話を控える
- ・可能な範囲で座席間隔を明け、定期的な車内の換気を行う
- ・首都圏を経由する、公共交通機関の利用は極力控える

②宿泊・食事・入浴

<宿泊>

- ・体調不良（熱、咳、咽頭痛、倦怠感など）の場合は直ちに引率責任者等へ申し出るようにし、居室に留まり、他者との接触をしない
- ・食事、入浴、就寝以外はマスク着用
- ・部屋割りで指定された自分の部屋で過ごすようにし、他の部屋への行き来は行わない
- ・身体的距離の確保を常に意識する（感染予防の観点からは、少なくとも2m）
- ・こまめな手洗い、手指消毒の実施に努めること

<食事>

- ・可能な限り時間差で食事をとる
- ・飲食開始直前までマスクの着用
- ・席の間隔を明け、可能な限り横並びとする
- ・会話を控える（会話をする際はマスク着用）

<入浴>

- ・可能な限り時間差で入浴をする
- ・物品の共用を避ける
- ・会話を控える（特に対面での会話はしない）
- ・身体的距離の確保及び、定期的な換気を行う

<その他>

- ・その他、宿泊施設での遵守事項については、野沢温泉観光協会が定めたガイドライン、宿舎の指示に従うこと

③大会終了後

- ・帰宅後2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性確認があった場合は、**遅延無きよう①大会事務局②各都道府県高体連スキー専門部に連絡する。**①大会事務局及び②各都道府県高体連スキー専門部は「全国高体連スキー専門部（選抜大会担当）」に連絡し、下記の連絡系統で迅速に情報を共有し感染防止対策をする。

連絡系統 高体連スキー専門部全国高校選抜担当：0269-62-6197飯山高校体育科・久保田まで

①大会事務局0269-85-3115 →

②各都道府県高体連スキー専門部 →

全国高体連スキー専門部
選抜担当→専門委員長

各都道府県高体連スキー専門部→参加高校

大会事務局 → 野沢温泉関係宿舎・競技場等

健康チェック管理用紙（引率責任者用）

学校名		※種目名	
引率責任者 氏名		印	

- ①各学校の引率責任者は、来会前・後の選手の体調について管理を行うこと。
- ②引率責任者は、来会日以降、この用紙に必要事項を記載すること。なお、種目によって来会日が異なる等の事情がある学校は、種目別でこの用紙に記入してもよい。その際は、学校名に加えて必ず種目名（クロス・ジャンプ）を明記すること。
- ③当該校生徒に、新型コロナウイルス感染症の疑いが生じた（体調不良者がいた）場合は、速やかに大会実施本部（0269-85-3115）及び所属都道府県専門委員長へ連絡をすること。
- ④この用紙は、大会参加最終日の記載を終えたあと、記入内容を確認のうえ大会実施本部へ必ず提出すること。

	月	日	曜日	体調不良者の有無 (様式1の各項目に☑が入らない者)	備考
来会 当日	月	日		あり ・ なし	
2日目	月	日		あり ・ なし	
3日目	月	日		あり ・ なし	
4日目	月	日		あり ・ なし	
5日目	月	日		あり ・ なし	
6日目	月	日		あり ・ なし	
7日目	月	日		あり ・ なし	
8日目	月	日		あり ・ なし	
9日目	月	日		あり ・ なし	
10日目	月	日		あり ・ なし	

大会実施本部 受付日 / (受理者:)